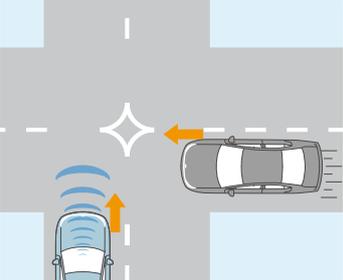
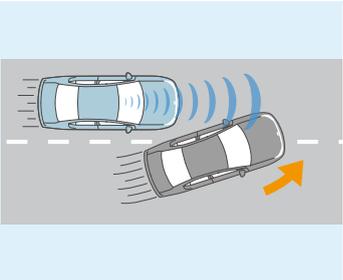
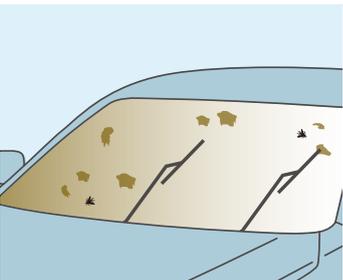
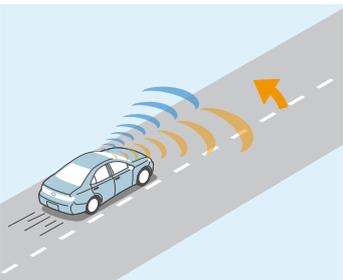
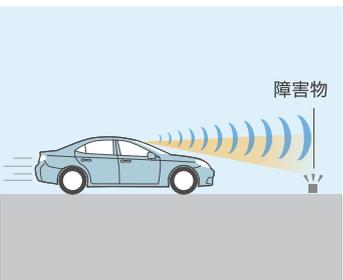
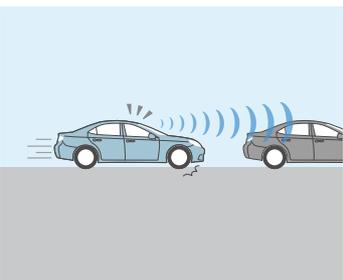


PCS

プリクラッシュセーフティシステム

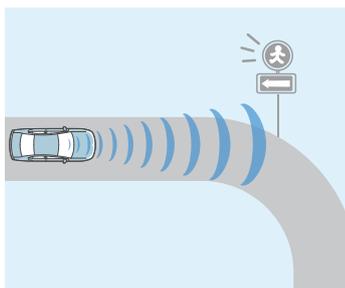
プリクラッシュセーフティシステムは、次のような状況では有効に作動しない場合があります。

	きついカーブや起伏がある場所		交差点などで、自車の進行方向に急な飛び出しがある状況
	自車の進行方向に急な割り込みがある状況		雨・霧・雪・砂嵐などの悪天候の状況
	フロントウィンドウガラスが汚れていたり、雨滴・結露・氷雪などで覆われている時		センサー周辺への強い衝撃などにより、センサーの向きがずれている時
	前方の障害物が小さい時		運転者の操作（アクセル・ブレーキ・ハンドルなど）から、運転者が衝突回避操作をしたとシステムが判断した時

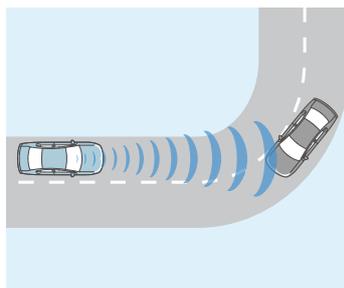
その他

- 前方の車両や障害物への部分的な衝突や接触をする状況
- 車両姿勢が極端に変化している状態

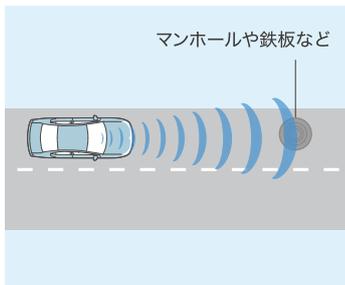
極めてまれですが、衝突の可能性がなくても、次のような場合にはシステムが作動することがあります。



カーブの入り口の
道路脇に障害物がある時

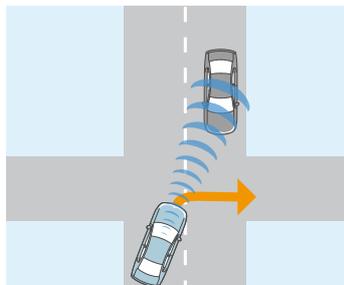


カーブで対向車と
すれちがった時

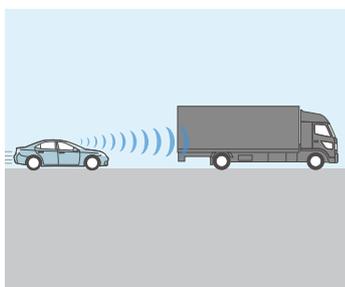


マンホールや鉄板など

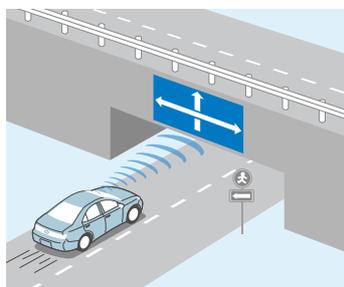
路面上に
金属物・段差または
突起物がある時



右左折時に対向車と
すれちがった時



先行する
大型トラックなどの
クルマに
急に近づいた時



立体交差・標識・
看板などが
進行方向に見えた時



上り坂走行中に
看板などの
上方金属物が
前方にある時

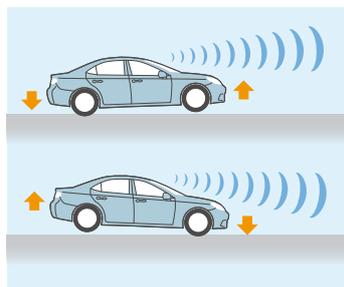


鉄板など

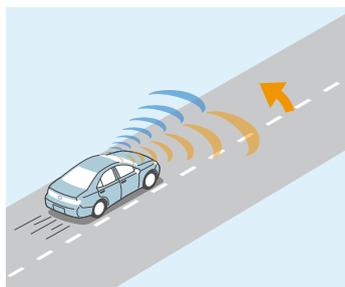
下り坂走行中に
鉄板などの
路面の金属物が
車両の前方にある時



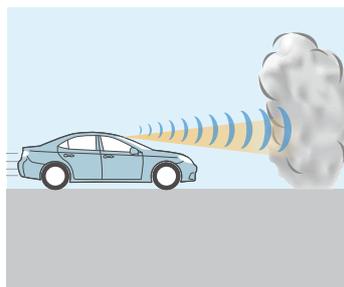
ETCゲートを
高速で通過した時



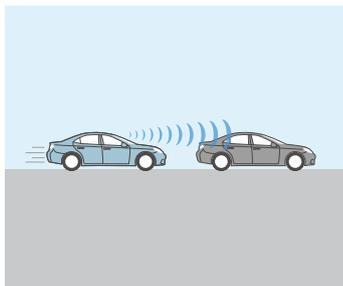
車高が極端に
変化している時



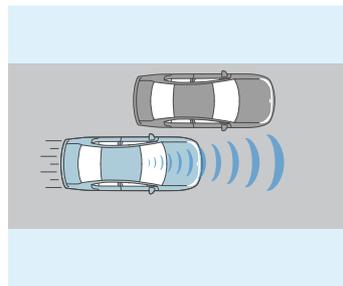
センサー周辺への
強い衝撃などにより、
センサーの向きが
ずれている時



水蒸気や
煙のかたまりを
通過した時



先行車に急速に
接近した時



障害物(停止車両・
ガードレールなど)の
横すれすれを
通過する時

その他

- 車両に覆い被さるような障害物(垂れ下がった枝・垂れ幕など)がある場所を通過する時
- 先行車などから水・雪などの巻き上げがある時
- 前方の障害物(壁・車両など)すれすれに停車する時

※システムとして上記のようなシーンで作動しないように設計していますが、衝突する場合と区別しにくいような状況の場合に作動する可能性があります。その際、ブレーキをかけると通常よりブレーキが強くなる場合があります。

次のような場合は、必ずPCSをOFFにしてください。
PCSが予期しない作動をする可能性、または作動すべき時に作動しない可能性があります。

- けん引される時
- けん引する時
- 船舶・トラック・カートレインなどに積載する時
- シャシーダイナモメーターやフリーローラーなどを使用する時
- サーキットなどでスポーツ走行する時
- 車両姿勢が変化している時(メーカー指定のサイズ以外のタイヤを取り付けている時や、サスペンションを改造している時など)

その他の留意事項

システムの自動解除

システムに異常がある時、警告灯が点灯または点滅し、警告メッセージが表示されます。システムの異常が検知された場合、センサーが障害物を検知できない状況(センサーの汚れなど)では、システムの動作が自動的に解除されます。このような場合には、衝突の可能性があってもシステムは有効に作動しません。また、プリクラッシュブレーキが作動し、車両が停止した後、約1秒で作動解除します。

センサーが検知しない場合

カラーコーンなどのプラスチック類は検知できません。人や動物・二輪車・木・雪の吹きだまりなども検知できません。

カメラセンサーが検知しない場合

- 太陽光など強い光がレンズに直接あたっている時
- 悪天候などで視界が悪い時
- センサーの温度が非常に高い時
- トンネル内や夜間など、周囲が暗い状況でヘッドランプをつけていない時

TRCとVSCを停止した時

TRCとVSCの作動を停止した時は、プリクラッシュブレーキアシスト、プリクラッシュブレーキの作動も停止します。ただし、衝突警報は作動します。